

船舶事故等調査報告書

平成26年4月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第5号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年1月9日 17時40分ごろ
発生場所	宮城県石巻港 宮城県石巻市所在の石巻港 <sup>ひばりの</sup> 雲雀野防波堤灯台から真方位032° 1,500m付近 (概位 北緯38°24.6′ 東経141°16.4′)
事故等調査の経過	平成26年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 第三十八日 <sup>にしゅう</sup> 祥丸、498トン
船舶番号、船舶所有者等	140420、田口汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船首部に破口、亀裂等
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、古紙約919tを積載し、船首約2.8m、船尾約3.7mの喫水により、船長が単独の船橋当直に就き、一等航海士及び二等航海士を船首に、機関長及び一等機関士を船尾にそれぞれ配置し、石巻港を北東進中、船長が、石巻港第4号灯浮標（以下「第4号灯浮標」という。）を通過後、左舵を取るのが遅れ、平成26年1月9日17時40分ごろ第4号灯浮標付近の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、タグボートの支援により、離礁した後、自力航行で石巻港の南浜ふ頭岸壁に着岸した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期 日没時刻：16時32分ごろ
その他の事項	船長は、石巻港に年4～5回入港しており、同港をよく知っていたので、問題なく入港できると思い、安心していた。 船長は、ふだん、第4号灯浮標を通過後、北方にある日和ふ頭に係留中の船舶の灯りを目印にして左舵を取っていたが、本事故直前、考え事をしながら操船し、日和ふ頭の南側にある南浜ふ頭に係留中の船舶の灯りに船首を向けていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし

<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>本船は、石巻港を北東進中、船長が、考え事をしながら操船し、南浜ふ頭に係留中の船舶の灯火を日和ふ頭に係留中の船舶の灯火と思い込み、南浜ふ頭に係留中の船舶の灯火に向けて航行を続けたことから、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、石巻港を北東進中、船長が、考え事をしながら操船し、南浜ふ頭に係留中の船舶の灯火を日和ふ頭に係留中の船舶の灯火と思い込み、南浜ふ頭に係留中の船舶の灯火に向けて航行を続けたため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れた港であっても、入港中は操船に集中すること。</li> <li>・夜間、航行する場合は、目視のみに頼らず、レーダーやGPSプロッターを活用して船位の確認を適切に行うこと。</li> </ul>